

宇都宮ひばりクリニック感想レポート

自治医科大学 大友莉那

1月22日から26日までの一週間、宇都宮ひばりクリニック、うりずん、かいつぶりでの実習をさせていただき、ありがとうございました。

大きく分けて、外来見学、訪問診療同行、うりずん見学をさせていただきました。外来見学では、大雪の影響で利用者の方も少なかったとのことですが、インフルエンザ疑いの方や消化器症状の方、定期的に受診する方、乳児健診の方など幅広い利用者層を見学することができ、地域での診療の様子を拝見することができました。クリニックを訪れるということが、その方にとっては1日の中での大きなイベントであったり、近くにクリニックがあるからこそ急病の時にかかりつけ医として訪れることができたりと、地域医療は多くのニーズの元に成り立っているのだと実感しました。先生は、利用者一人一人のお話を丁寧に傾聴し、日常の様子などを細かくカルテに記載されていて、皆様楽しそうにお話されているのが印象的でした。昔のお話や職業のお話から、その方の普段の生活の様子もわかることもあり、大事な情報につながるのだとも思います。ただ、処方箋を出すのではなく、不必要な薬がないかどうか、どのように治療を進めていったらいいのかなど、ご本人と相談しながら決めていくスタイルを私も将来とっていきたいと思いました。また、ただカルテの情報や検査結果だけを参考にするのではなく、必ず身体診察を行いその方の身体からのサインを見逃さないことも大事であると改めて実感しました。利用者の方の中には、他の病院で聴診など身体診察を一切されずに薬だけ処方され、不安であったとおっしゃっていた方がいました。医師の立場としては、情報がデータや画像で得られるけれど、利用者の方にとっては自分が診てもらえているという安心感、信頼感が必須であると思います。将来、本当の意味で全身を診る医師になれるよう、これらのことを意識していきたいと思いました。

訪問診療では、人工呼吸器管理をしている方から老老介護をされている方まで、様々な利用者のご自宅に同行させていただきました。全体として、最も印象的だったのは、ご家族の介護のあり方についてです。在宅となると、独居の方にはなかなか難しく、グループホームなどを利用する方もいらっしゃいましたが、多くの方はご家族が介護されていました。人工呼吸器を使用しているともなると、ご本人につきっきりの介護となり、ご自分が体調を崩されたり自分の時間をとれなかったりなど一言では表せないご苦労があるのだと思いました。それ

でも、日常の様子を明るくお話されている様子を見ると、ご病気のこと、今の生活のこを受け入れ、前に進んでいらっしゃるのだと感じました。利用者の方には、意思表示ができる方、できない方がいらっしゃいました。もちろん、意思表示ができる方に対しては、その意思に沿ってお話を進めることができますが、意思表示ができない方に対して、断りなく動かしたり触ったりするのではなく、一言声をかけて行動に移したり話しかけたりするだけで、その方を尊重する表れになるのだということ学びました。頭は何の障がいもなく、身体だけ不自由な方にとっては、意識ははっきりしており必ず意思があります。その中で、その方に敬意を払い接することが一人の人間として大切なのだと思いました。また、先生は、ご本人の体調だけでなく、そのご家族の体調や普段の生活なども気にかけていらっしゃり、そのようなご配慮が利用者の方の信頼感につながっているのだと思いました。ご本人、ご家族を大きな一つの輪で診ることができるようになりたいと思います。

うりずん見学では、日中一時支援、児童発達支援、放課後等デイサービスを見学させていただきました。まず、この事業について、始めるきっかけとなったお話に感銘を受けました。ご本人のためだけでなく、そのご家族の負担を少しでも和らげるためにというきっかけであったとお聞きしました。たとえ、そのようなニーズがあってもそれを形にすることは容易ではないと思います。今では、多くの方がうりずんを利用し、利用者のご家族同士の交流の場にもなっているとお聞きしました。このような場が、障がいを持つ方たちの情報収集の場にもなったり、利用者の方にとっても居心地の良い場であったりするのだと思いました。何よりも、利用者のお子さんに対しての気遣いや、丁寧に接している様子など、スタッフの方々の人柄が印象的でした。人工呼吸器管理の方は、うりずんに到着してからベッドに移動し機械を装着後、ひと段落するまでに時間がかかり、さらにその後も吸引などのサポートが必要となります。ご本人にもご家族にも安心して利用してもらえよう、安全なケアを心がけ、お話したりその日の活動をしたりして、本人は楽しく過ごせるような素敵な場であると思いました。こんな素敵な場がこれからどんどん増えていけば、地域の人にも知ってもらえるだろうし、繋がりが大きくなっていくのだろうと思います。

一週間を通して、医師としてのあり方や、地域での医療のあり方など、将来自分が働く上でその根本として意識し続けたい大切な経験ができました。高橋先生始め、スタッフの方々にはたくさんお気遣いいただき、貴重な経験をさせて

いただき、本当にありがとうございました。機会があれば、また是非伺えたら
と思います。今後とも、どうぞご指導のほど、よろしくお願いします。

2018年1月26日